

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	観光の振興			
施策の体系	基本目標	ひとが賑わうまち	施策の担当課名	商業観光課
	基本施策	産業活性化プロジェクト	関係課名	総合政策課・文化課
	施策コード	A-2-5		

① 施策の現状と課題	<p>これからの観光は、地域がプロデュースして、自然体験・地域交流・学習体験などを楽しむ「着地型観光」が主流となってきます。本市には、今川河畔の桜、潮干狩り、海水浴場、新田原の果樹園、国指定史跡の御所ヶ谷神籠石や掩体壕など多くの観光資源があります。</p> <p>今ある観光資源を生かした取組みとして、今川河畔の桜ライトアップ、ビーチバレーやビーチサッカーなどの海水浴場でのスポーツイベントの開催などを行い、観光客を誘致してきました。また、文化財を案内するボランティア「ゆくはし屋根のない博物館市民学芸員」による史跡ガイドや「ゆくはし探訪ツアー」など、ボランティアや地域住民の参加による観光事業に取り組んでいるところです。</p> <p>特産品においては、なたね油やドライフィグ（乾燥いちじく）、いちじくソースなど、生産者と協力しながら新商品の開発に取り組む、広くPRしてきました。</p> <p>今後も、今ある観光資源を生かした取組みを引き続き努める必要がありますが、さらなる観光資源の掘り起こしや観光案内板の整備、情報提供をいかに充実させていくかがこれからの課題です。さらに、多様化する観光客のニーズに対応するために、さらには空港に近接する優位性を生かした外国からの観光客誘致のために、近隣の市町村と連携した広域による観光開発の取組みとネットワークづくりも必要となってきます。</p> <p>また、主要地方道行橋添田線沿線に広がる観光資源を有効活用するため、東九州自動車道との接続を推進する必要があります。</p>
	② 施策の基本方針

③ 施策の内容 (主要施策)	<p>主要施策名(1) 情報提供の充実</p> <p>行橋駅構内にある「行橋市観光物産情報コーナー」を中心に、本市の観光を市内外に広くPRしていきます。また、近隣市町村と連携しながら、広域的な観光ネットワークに取り組み、雑誌や報道機関などの広報媒体や大手旅行代理店等を活用しながら国内外に広く情報発信していきます。</p>
	<p>主要施策名(2) 観光案内板の整備</p> <p>マイカーで観光地を訪れる人や外国からの観光客のために、目的地がわかりやすい外国語併記の案内板を設置します。また、名所の説明看板が古くなっているところは、新規に取替え、まだ整備されていない箇所については、早急に整備を進めていきます。</p>
	<p>主要施策名(3) 特産品の開発</p> <p>関係事業者の連携を促し、市の特色を生かした新たな特産品開発に取り組む、その普及に努めます。</p>
	<p>主要施策名(4) 史跡や文化遺産の活用と観光ボランティアの育成</p> <p>本市の豊かな歴史と市内に数多くある史跡や文化財を積極的に観光に活用していくため、歴史散策のモデルコースの設定や案内サインなどの整備に取り組めます。また、ガイドボランティアの育成を図ります。</p>
	<p>主要施策名(5)</p>
	<p>主要施策名(6)</p>
	<p>主要施策名(7)</p>
	<p>主要施策名(8)</p>

④ 目標指標	指標名(単位)	過年度実績				評価年度	目標値		達成度の説明 (H26年度)
	観光案内板の設置箇所数(箇所)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	行橋駅の東口および西口、さらに行橋市役所前の案内看板の取替えを実施した。また、黒田官兵衛を活用した看板を作成した。
		52	57	62	82	95	80	84	
	新たな特産品の開発(種類)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	昨年度開発された商品のPRと次年度以降の開発に向けた調査等を実施。
		0	0	1	5	0	0	1	
観光スポットの整備とPRに関する市民満足度(%)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	アンケート調査を実施していないため、市民満足度の測定困難。	
	9.9	-	-	-	-		20.0		
	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		

⑤ 施策構成 事務事業	事務事業名	事務事業の内容	事業費(人件費込、単位:千円)			優先順位	
			H25年度実績値	H26年度実績値	H27年度見込額		
	1	特産品開発事業	各関係機関と協議しながら、新たな特産品開発を進めていく	1,120	1,120	9,925	4
	2	観光地環境整備事業	海水浴場や自然公園などの観光地整備事業を行う	2,732	3,957	4,798	5
	3	行橋市観光協会事業	行橋市観光協会の事務及び会員と連携して観光事業を推進する	2,080	2,280	4,950	2
	4	行橋市観光物産情報コーナー運営事業	行橋市観光協会に物産コーナーの管理運営を委託。市と連携しながら、観光案内や特産品のPRを行う	7,589	7,819	9,467	3
	5	今川河畔ライトアップ事業	今川河畔の桜開花時期にあわせて、ライトアップを行う	0	0	1,550	8
	6	再編交付金事業(海岸トイレの設置)	海岸沿いに観光トイレを設置する	25,523	1,897	36,090	6
	7	北九州空港地域PR事業	到着フロアにおける電照広告の掲示及び地域PRコーナーでの各種PR掲示	2,539	3,792	3,228	7
	8	軍師官兵衛対策事業	NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の放送を契機とした観光対策を行う	8,223	8,206	0	-
	9	海岸地域観光振興事業	海岸地域の観光資源の活用を図り、イベント開催、HP作成を行う	0	5,748	20,796	1
	10						
	11						
12							
13							

⑥ 施策全体の今後の方針と展望 (主要部長の意見)	<p>行橋市内の自然や特産品、文化財などの資源を活用して市の内外にPRできる観光資源として整備を図るとともに、今後は、特に海岸地域の観光振興の重点的な取り組みを行う。また行橋市観光協会の組織や事業の見直しを進め、周辺地域と連携しながら広域的な観光事業に積極的に取り組める体制を目指す。特に行橋市観光協会に委託している行橋駅構内にある行橋市観光物産情報コーナーは、本市の情報発信の中心であり、観光協会の組織や事業の見直しの際に更なる内容充実を努める必要がある。また東九州自動車道の開通を好機として、HPの活用やイベントの開催などを通して、広域での本市のPRを早急に実施することが重要と考える。</p>
---------------------------------	---

⑦ 総合計画審議会からの意見及び指摘事項等	<p>行橋にはいちじくや牡蠣をはじめ素晴らしい特産品がある。近隣には知られているが全国的にはまだまだ認知されているとはいえない状況であるので、情報発信の強化について検討してもらいたい。また、今年度は海岸地域の観光振興の一環として、ビーチバレー大会を多くの関係者の協力の下、開催することができた。これを契機に多くの観光客を誘致できる施策に積極的に取り組む等、昨年度策定した行橋市海岸地域観光振興基本構想に基づいた総合的な観光拠点づくりを進めてもらいたい。</p> <p>今後、観光振興や特産品・観光資源のPR等を積極的に進めていくためには、観光協会の組織の見直しや体制の強化は急務だと考える。</p>
--------------------------	---

⑧ 施策に対する市の最終方針	<p>行橋市の特産品のPR強化には、生産者と協力して特産品の生産量や流通・販売の確保などもあわせてとらえて戦略的なPR方法を検討する必要があると考えます。27年度に策定された「行橋市地域ブランド推進計画」に沿ってブランド化の取組みを行い、知名度の向上に努めてまいります。</p> <p>また、海岸地域の観光振興につきましては、継続してビーチバレーボール大会などのイベントを開催するとともに、自然や史跡などの観光資源を活用し、計画的に整備をすすめるながら観光ポータルサイトなどを通じて情報発信を行い、観光客の誘致を図ります。</p> <p>観光協会については、組織の見直しをすすめ、積極的に行橋市のPRや特産品開発、イベント開催などの事業を実施する計画ですので、市としての支援の充実・強化に努めます。</p>
-------------------	---